

浜名湖ボート転覆

静岡県教委に改善勧告

安全委
報告書

荒天時の中止基準不備

(長さ七尺、幅一・一)

浜松市北区の浜名湖で、ボートが傾いた状態で曳航したことが原因とする調査報告書を公表した。緊急時の曳航を青年の家に訓練させていなかった静岡県教育委員会の安全対策には「事故発生に関与した可能性がある」と不備を指摘した。二七日、悪天候時の訓練中止基準が整っておら

再発防止のため、県教委と、県教委が青年の家の管理運営を代行させている小学館集英社プロダクション(東京)に安全対策の見直しや明文化を勧告した。勧告は、改善策などの対応を運輸安全委に報告させることもできる法的措置で自治体の適用は初めて。報告書では、ボート

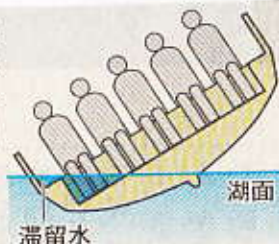
運輸安全委報告書の骨子

- ▽風、波が強まっていたのにボート活動を継続し、荒天や生徒の酔いでボートが動けなくなった
- ▽ボートが左に傾いた状態で曳航したため生徒らの姿勢が崩れるなどして船体の左傾斜が増し、転覆した
- ▽指定管理者が事故を想定し安全対策マニュアルを作らず、曳航訓練をしなかった。静岡県教委もそれを指示・指導しなかった
- ▽このため曳航した所長は曳航の経験がなく、知識もなかった

は体重の片寄りや雨水の重みで左に傾いていたまま風上に向けて曳航されたためさらに傾き、水が入ったり生徒らの姿勢が崩れたりして転覆した可能性が高いと結論づけた。青年の家所長が曳航した。

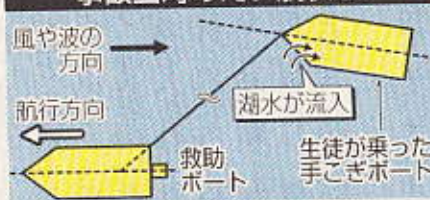
その上で、施設側が

転覆直前のボートの状態



天候悪化を受けてボート活動の縮小や指導員の同乗などの対応を取ったり、曳航時に船内にたまった水の除去や安全な取り扱いを指導したりすれば「事故を回避できた可能性がある」と言及した。こうした回避措置に至らなかった背景として、施設の安全対策マニュアルには県教委直

事故当時のえい航状態



浜名湖ボート転覆事故 浜松市北区三ヶ日町の浜名湖で2010年6月18日、章南中1年生らが分乗したカッターと呼ばれる手こぎボート4隻のうち、生徒18人と教員2人が乗った1隻が荒天で動

けなくなり、曳航中に転覆。19人は救助され、2時間半後にボート内で見つかった西野さんが水死した。施設は10年4月から小学館集英社プロダクションが指定管理者として管理運営していた。

営だった時代から事故を想定した救助態勢や「注意報」レベルの悪

天候の対応など細かい中止基準がなく、曳航のマニュアルや訓練もないまま事故二カ月前の一〇年四月に県教委から管理運営の方法が小学館集英社プロダクションに引き継がれた点などを指摘。同様のボート活動がある全国九施設と比べ「安全確保が不確実な状況だった」とした。

安全確保に万全

安倍徹・静岡県教育長の話 報告書の内容を真摯に受け止め、勧告された事項を作成中の対策マニュアルに反映させるなど安全確保に万全を期したい。

事故をめぐる静岡県警が業務上過失致

浜名湖転覆

県教委の監督不備重大

安全委
報告書
指定管理制度に一石

浜松市の浜名湖で二〇一〇年、「静岡県立三ヶ日青年の家」の訓練用ボートが転覆、愛知県豊橋市立章南中学校一年の西野花菜さん（当時一七）が亡くなった事故で、国の運輸安全委員会は二七日公表した事故調査報告書で、指定管理者の民間企業に対する静岡県教委の引き継ぎや指導監督の不備を重大視した。関連面指定管理者制度を適用する自治体の責任について、運輸安全委は「ボート活動のある施設を指定管理者に管理運営させる場合、曳航の要領を含め事故を想定した救助態勢を定めさせ、曳航訓練をさせ、救助機関と連携を図らせておく必要がある」と指摘。制度をめぐる安全対策のあり方にも一石を投じた。

事故の二カ月前に県教委から指定管理者の小学館集英社プロダクション（東京）に引き継がれた青年の家では、こうした対応は行われていなかった。

報告書によると、同社は前所長から県教委直営時代の活動方法を継承すると言われる一方、県教委からは何の申し入れもなかった。このため「県教委の安全対策を継承すればよい」と思い、安全面を検討しなかった。

運輸安全委幹部は「安全対策マニュアルは県教委直営時代も同じだったが、経験のある人がマニュアルの不備を補っていた。経験の差が事故の背景にある」とみている。

直接的な事故原因について報告書は、ボートが傾いた状態で曳航されて転覆した可能性が高いと結論づけた。背景要因にマニュアルに悪天候時の活動中止基準が明示されず、曳航の訓練も行われていなかった点を指摘した。再発防止のため、県教委と同社に安全対策の見直しや明文化を勧告。勧告は、改善策などの対応を運輸安全委に報告させることができる法的措置で、自治体への適用は初めて。

所長の経験不足原因

浜名湖の転覆
国調査報告書 県教委も指導不足

浜松市の浜名湖で2010年6月、ボートが転覆して中学生が死亡した事故で、運輸安全委員会が27日に公表した調査報告書は、ボートを引航した県立三ヶ日青年の家の檀野清司所長の経験不足が直接の原因だと結論づけた。だが、指導する県教育委員会は引航の訓練をさせておらず、「事故発生に関与した可能性がある」と指摘した。

事故は、愛知県豊橋市立章南中学校の20人が乗るボートが転覆し、1年の西野花菜さん(当時12)が死亡した。

報告書では、檀野所長が雨水などで左側に傾いたままボートを引航したため、さらに傾いて湖水が入り転覆。教諭や生徒に雨水の排水やかじの操作方法を指示していれば「事故を回避できた可能性がある」とした。

さらに、悪天候時などの訓練の中止基準がなく、事故を想定した安全管理が不十分だったと指摘。県教委も安全対策を把握しておらず、指導が不十分だったと

性がある」と指摘。市消防局は「救助者数をしっかりと把握しなかったことは反省すべきだった」とした。

調査結果を受けて、安倍徹県教育長は「報告書の内容を真摯に受け止め、勧告された事項を現在作成中の安全対策マニュアルに反映させるなど、安全の確保に万全を期したい」とコメント。檀野所長は「県教委と一緒にになり、二度と事故を起こさない体制をつくりたい」と話した。

西野花菜さんの父・友章さん(52)は「改めて施設と運営会社の危機管理のずさんさが明確になった。情けない状態で運営されていたと感じた。子どもが命を落とさなくなる仕組みづくりを議論し続けてほしい」と話した。

浜名湖転覆で安全委調査結果 手引き書の不備残る

2010年6月に浜松市の浜名湖で起きたボート転覆事故で、国の運輸安全委員会が27日に発表した調査結果では、野外活動を実施した「静岡県立三ヶ日青年の家」の指導マニュアルなどの不備を指摘するとともに、事故がなぜ起きたのか

について触れた。

事故は、豊橋市立章南中学校の野外活動中に起きた。中学生ら20人が乗ったボートが転覆し、1年生の西野花菜さん(当時12)が亡くなった。

中学生らのボートは大雨や強風、波浪などの注意報が出され、雨が降る中で出航した。しかし、風や波が強くなって船酔いの生徒が出るなど、航行が難しくなった。ボートは左に傾いた状態で「青年の家」所長のモーターボートに引航されたため、ボート内に水がたまった。さらに、右側にいた生徒らの姿勢が崩れ、左側に寄ってきて、バランスを崩して転覆した、と報告書は指摘している。

静岡県の直営だった「青年の家」は2010年4月から「小学館集英社プロダクション」(東京都)が指定管理者になった。指定管理に移行する際、訓練の中止を決める基準や訓練方法などは継承するように前所長から申し入れがあった。そのため、安全面の検討がされず、指導マニュアルの不備がそのまま残った。所長は引航の経験がないまま、引航訓練も実施されな

現場任せの対応批判

覆転・ボート・湖名浜

県教委管理ずさん

運輸安全委
調査報告書 中止基準も不明確

運輸安全委員会が27日、県教委の安全管理責任に言及した浜名湖のボート転覆事故の調査報告書をまとめた。明確な中止基準などを定めないまま、県直営時代の指導マニュアルの踏襲を容認した県教委に対し、「現場任せ」とも取れる対応を鋭く批判する内容となった。

報告書は、不明確な

自治体の厳しいチェ

トは計4隻で出航。報

ち転覆したボートは左側へ引張られるような形になってえい航されたため左に傾き、左舷側に雨水が滞留。生徒も左に集中したため、さらに湖水が浸水し、最終的に大量の水

浜松市消防局の人数報告不正確
捜索遅れた可能性
運輸安全委員会は、浜松市消防局の隊員が転覆した船に残された人数を正確に報告しなかったため、行方不明

者の存在確認に手間取り、西野さんの捜索に遅れが出た可能性を指摘した。
報告書では、市消防局は、発生から約1時間半後に行方不明者の存在を確認した。
初動段階で水上オートバイを準備し、行方不明者の情報を得た段階で潜水用具を装備した隊員を出動させていたが、西野さんの早期発見につながった可能性も示唆した。

中止基準などボート訓練の危機管理体制のずさんさを随所で指摘した。その上で、県教委が「具体的な安全対策を把握していなかった」と述べ、こうした対応が事故につながったと批判する内容となった。

報告書には「危機管理技術の正確な継承には、施設を設置する訓練用の手こぎボ

「豊橋市にも勧告を」西野さん父

運輸安全委員会の事故調査報告書について、亡くなった西野花菜さんの父友章さんが「豊橋市にも勧告してほしい」と述べ、こうした対応が事故につながったと批判する内容となった。

「静岡県、青年の家、学校の3者に責任がある」と思う。学校での活動中の事故。先生が管理するのは当たり前で、専門家が大丈夫と云ったからしょうがない」と、責任追及しないのは納得できない。再発防止の意味でも豊橋市に勧告があったらよかった。

「静岡県、青年の家、学校の3者に責任がある」と思う。学校での活動中の事故。先生が管理するのは当たり前で、専門家が大丈夫と云ったからしょうがない」と、責任追及しないのは納得できない。再発防止の意味でも豊橋市に勧告があったらよかった。

「静岡県、青年の家、学校の3者に責任がある」と思う。学校での活動中の事故。先生が管理するのは当たり前で、専門家が大丈夫と云ったからしょうがない」と、責任追及しないのは納得できない。再発防止の意味でも豊橋市に勧告があったらよかった。

「静岡県、青年の家、学校の3者に責任がある」と思う。学校での活動中の事故。先生が管理するのは当たり前で、専門家が大丈夫と云ったからしょうがない」と、責任追及しないのは納得できない。再発防止の意味でも豊橋市に勧告があったらよかった。

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

「県教委と指定管理者に勧告が出た。」「具体的な報告内容があった。」

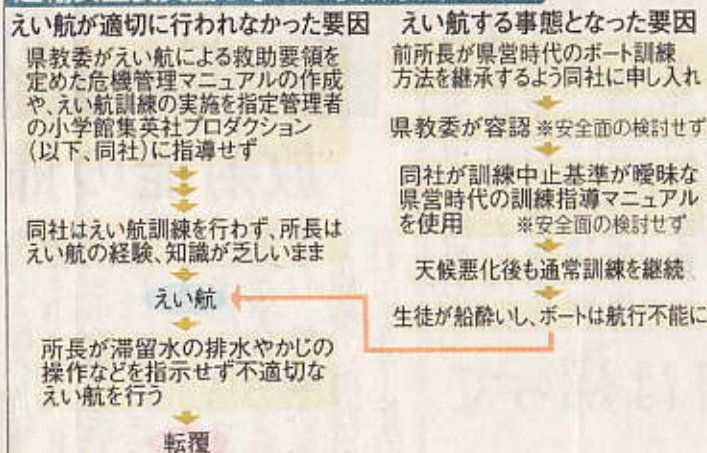
訓練未実施、県教委に責任

えい航の所長経験不足

浜松市の浜名湖で2010年6月、水上訓練中の県立三ヶ日青年の家(北区)の手こぎボートが転覆し、豊橋市立章南中1年西野花菜さん(当時12)が死亡した事故で、国土交通省の運輸安全委員会は27日、転覆の直接原因をボートをえい航した施設所長の知識・経験不足とする調査報告書をまとめた。「注意報」レベルの悪天候時の訓練中止基準を指導マニュアルに定めていなかった落ち度も指摘。指導する立場でありながら、えい航訓練やマニュアル整備を行わなかった県教委の責任も認め、同日午前、施設の指定管理者「小学館集英社プロダクション」(東京都)とともに、県教委にも、あらゆる事故を想定した危機管理マニュアルや指導マニュアルを作成させるよう勧告した。

報告書は、同社が10年4月に施設の指定管理者になる際、事故を想定した救助体制を定めていない、不十分な危機管理マニュアルを

運輸安全委員会が示した事故原因の流れ



マニュアルに反映
安倍徹県教育長の話
県教育委員会として
は、今回公表された事故調査報告書の内容を真摯(しんし)に受け止め、勧告された事項を現在作成中の安全対策マニュアルに反映させるなど、安全の確保に万全を期していく。

再発防止 取り組み
小学館集英社プロダクションの話
報告書を基にあらためて事故原因を検証し、二度と事故を起こすことのないよう再発防止策と運営マニュアル作成に静岡県と協力して取り組む。

的な安全対策を把握せず、県営時代に大きな事故が起きていなかったため」とした。

事故は生徒18人と教員2人が乗ったボートが悪天候などで航行不能となり救助のモーターボートがえい航中に転覆し、発生した。当日は、正午、ろくに大雨、雷、波浪、洪水の各注意報が出ていた。施設の指導マニュアルでは警報の際などの中止基準は定められていたが、注意報レベルでは明確な決まりがなかった。

事故については細江署が業務上過失致死容疑で捜査している。

2010.7.27
静岡新聞(9期)

空誘導弾(中SAM)の設計で、同情報センタ―には宇宙機構に再〇〇九年度に約三百三た書類が発見された。

迷惑をおかけすること、事態とは違つ作業を深くおわびする」とのコメントを出した。

安全対策業者任せ

浜名湖転覆 静岡県教委 救助態勢連携なく

浜松市の浜名湖で二ト活動のある施設を管

理運営させる場合、事

〇一〇年、「静岡県立

三ヶ日青年の家」の訓

練用子こぎボートが転

覆、愛知県豊橋市立章

をさせて救助機関と連

南中学校一年の西野花

菜さん(当時二二)が

亡くなった事故で、国

の運輸安全委員会は二

十七日公表した事故調

査報告書で、管理運営

を代行する民間企業に

対する、静岡県教委の

「安全指針改善する」

豊橋市教委、特別班発足へ

事故調査報告書の公

表を受け、豊橋市教委

の加藤正俊教育長は二

十七日、「報告書の内

容を分析し、市教委が

策定している安全マニ

ュアル(安全指針)を

改善したい」とのメモ

を公表した。市教

委は今後、特別チーム

をこめて

事故は2010年6月

18日、愛知県豊橋市立章

南中の生徒の訓練中に発

生。天候悪化で船酔いす

る生徒が相次ぎ、岸に戻

トが傾いた状態で曳航

されて転覆した可能性

が高いと結論づけた。

背景要因に、マニユア

ルに悪天候時の活動中

止基準が明示されず、

曳航の訓練も行われて

いなかった点を指摘し

た。

悪天候時のボート活

動をめぐり、市教委と

遺族の主張は平行線が

続いている。市教委は

「施設の判断に従った」

とし、調査報告書も学

校側が従属的な立場と

の見方が示された。

だが、西野花菜さん

の父友章さん(五三)は

「施設がいいと言え

ば、ボートをこいだこ

ともない生徒を荒れた

湖に出航させるのか。

生徒の命を預かる学校

がなぜ、施設に訓練の

中止を求めなかったの

か」と訴えている。

種施設の多くで気象予報

に応じて訓練内容を変更

したり、中止したりする

内規があるという。

ボートをえい航した訓

練施設の所長はい航経

験がなく、船底にたまった

雨水の排水やかじ操作

など転覆を防ぐ措置がと

る。実態とは違つ作業

防衛省によると、二

時間や人数が記載され

た書類が発見された。

〇〇九年度に約三百三

た書類が発見された。

〇〇九年度に約三百三

た書類が発見された。

〇〇九年度に約三百三

た書類が発見された。

〇〇九年度に約三百三

た書類が発見された。

〇〇九年度に約三百三

た書類が発見された。

〇〇九年度に約三百三

た書類が発見された。

〇〇九年度に約三百三

た書類が発見された。

迷惑をおかけすること

を深くおわびする」と

のコメントを出した。

は県教委直営時代も同

じだったが、経験のあ

る人が不備を補ってい

た。経験の差が事故の

背景にある」とみてい

る。

報告書は、直接的な

た。

「安全指針改善する」

豊橋市教委、特別班発足へ

事故調査報告書の公

表を受け、豊橋市教委

の加藤正俊教育長は二

十七日、「報告書の内

容を分析し、市教委が

策定している安全マニ

ュアル(安全指針)を

改善したい」とのメモ

を公表した。市教

委は今後、特別チーム

をこめて

事故は2010年6月

18日、愛知県豊橋市立章

南中の生徒の訓練中に発

生。天候悪化で船酔いす

る生徒が相次ぎ、岸に戻

ろうとモーターボートで

えい航中に船が転覆し、

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

切でなかった」と指摘。同

中日新聞

夕刊

発行所 中日新聞社

名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

IT技術で
未来と響きあう。

Challenges in the Next Stage

NDS

日本電話施設株式会社

本社/〒460-0012

名古屋市中区千代田二丁目15番18号

TEL052-263-5011

www.nds-g.co.jp

ニュース予報

あすは

28日(土) 赤口

消費税の引き上げを柱とした「社
の一体改革」で、国民に理解を求め
務省の政務三役が名古屋市など五都
明会。二十一日の四都市に続く第二

浜名湖・ボート転覆

静岡県教委に改善勧告

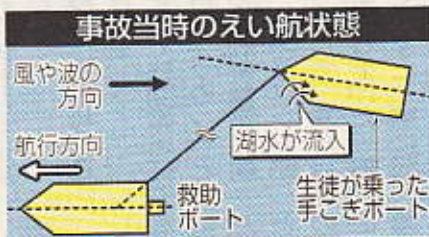
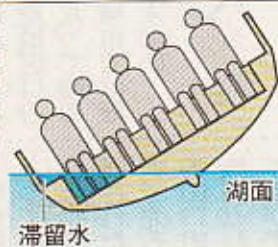
安全委報告 曳航の訓練せず

浜松市北区の浜名湖で二〇一〇年、宿泊研修施設「静岡県立三ヶ日青年の家」の訓練用ボートが転覆し愛知県豊橋市立章南中学校一年の西野花菜さん(当時一七)が死亡した事故で、国の運輸安全委員会は二十七日、悪天候時の訓練中止基準が整っておらず、ボートが傾いた状態で曳航したことが原因とする調査報告書を公表した。緊急時の曳航を青年の家に訓練させていなかった静岡県教育委員会の安全対策には「事故発生に関与した可能性がある」と不備を指摘した。――関連⑥面

悪天候時の中止基準不備

再発防止のため、県 ロタクシオン(東京) 応を運輸安全委に報告
教委と、県教委が青年 安全対策の見直しや させることもできる法
の家の管理運営を代行 明文化を勧告した。勧 措置で自治体への適
させる小学館集英社ア 告は、改善策などの対 用は初めて。

報告書では、ボート (長さ七、幅二・二) は体重の片寄りや雨水の重みで左に傾いてい たまま風上に向けて曳航されたためさらに傾き、水が入ったり生徒らの姿勢が崩れたりし て転覆した可能性が 高いと結論づけた。青年の家所長が曳航した。その上で、施設側が天候悪化を受けてボート活動の縮小や指導員



安全な取り方を指導したりすれば「事故を回避できた可能性がある」と言及した。

運輸安全委報告書の骨子

- ▽風、波が強まっていたのにボート活動を継続し、荒天や生徒の船酔いでボートが動けなくなった
- ▽ボートが左に傾いた状態で曳航したため生徒らの姿勢が崩れるなどして船体の左傾斜が増し、転覆した
- ▽指定管理者が事故を想定した安全対策マニュアルを作らず、曳航訓練をしなかった。静岡県教委もそれらを指示・指導しなかった
- ▽このため曳航した所長は曳航の経験がなく、知識も乏しかった

下を曳航する際の安全対策の徹底③事故を想定した訓練の実施と関係機関との連携——などを勧告。県教委に対して、青年の家の訓